

模範解答

平成 26 年度
第 138 回 簿記 検定 試験

1 級 一 II

(制限時間 1 時間 30 分)
(1 級 4 科目 午前 9 時開始)

(平成 26 年 11 月 16 日(日)施行)

受験
番号

第 138 回簿記検定試験答案用紙

生年月日 昭・平

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ①

氏名

商 業 簿 記

決算整理後残高試算表

平成 X5年3月31日

(単位：千円)

採点欄

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金預金	32,495	支払手形	13,000
売掛金	21,000	買掛金	14,390
未収金	140	未払金	1,020
繰越商品	27,840	短期借入金	1,600
前払費用	810	貸倒引当金	1,183
建物	155,000	未払費用	890
備品	9,500	退職給付引当金	5,202
土地	159,100	建物減価償却累計額	63,600
投資有価証券	4,800	備品減価償却累計額	5,054
長期貸付金	15,000	社債	39,258
長期前払費用	1,300	長期借入金	40,400
為替予約	2,400	資本金	142,335
仕入	192,500	資本準備金	32,335
棚卸減耗費	1,050	利益準備金	3,100
商品評価損	2,610	任意積立金	1,200
販売費	4,650	繰越利益剰余金	1,324
一般管理費	3,695	新株予約権	890
退職給付費用	1,072	(繰延ヘッジ損益)	2,400
貸倒引当金繰入	581	売上	275,000
貸倒損失	760	受取利息	495
減価償却費	6,345		
(為替差損)	500		
社債利息	724		
支払利息	235		
リース解約損	88		
リース資産除却損	481		
	644,676		644,676

第 138 回簿記検定試験答案用紙

氏名

1 級 ②

会 計 学

試験地(会議所名)	採点欄

第1問

採点欄

	語句		語句		語句
a	時価ヘッジ	b	繰延ヘッジ	c	秩序性
d	簿外資産	e	簿外負債	f	税抜方式
g	税込方式	h	販売	i	割賦
j	回収	k	回収期限到来		

第2問

連結包括利益計算書

少数株主損益調整前当期純利益	10,000
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	(△ 840)
為替換算調整勘定	(100)
その他の包括利益合計	(△ 740)
包 括 利 益	(9,260)
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	(6,380)
少数株主に係る包括利益	(2,880)

その他の包括利益の内訳項目の金額

その他有価証券評価差額金	
当期発生額	(△ 520)
組替調整額	(△ 880)
税効果調整前	(△ 1,400)
税効果額	(560)
為替換算調整勘定	(△ 840)
当期発生額	(400)
組替調整額	(△ 500)
税効果調整前	(△ 100)
税効果額	(200)
その他の包括利益合計	(△ 740)

第3問

a	割引前将来キャッシュ・フロー	b	帳簿価額
---	----------------	---	------

受験
番号

第 138 回簿記検定試験答案用紙

生年月日 昭・平

試験地 (会議所名)	採点欄

1 級 ③
工業簿記

氏名

第1問
問1

採点欄

原 料		(単位:円)	
月初有高	(218,000)	消費高	(4,878,000)
購入高	(4,872,000)	月末有高	(212,000)
	(5,090,000)		(5,090,000)

購入原料価格差異 (単位:円)

(18,500) | ()

問2 製品Xの原価標準は (295) 円/kg

問3

原 料 消費量差異	原料配合差異	6,000 円 (有利、不利)
	原料歩留差異	232,000 円 (有利、不利)
直接労務費 総 差 異	労働賃率差異	60,000 円 (有利、不利)
	労働能率差異	80,000 円 (有利、不利)
	労働歩留差異	80,000 円 (有利、不利)
製造間接費 総 差 異	予算差異	235,000 円 (有利、不利)
	不働能力差異	300,000 円 (有利、不利)
	能率差異	160,000 円 (有利、不利)
	歩留差異	160,000 円 (有利、不利)

(注) () 内は、「有利」か「不利」のいずれかを○で囲みなさい。

第2問

① シングル・プラン	② パーシャル・プラン	③ 修正パーシャル・プラン
④ 価 格	⑤ 賃 率	⑥ 管 理

試験地 (会議所名)	採点欄

原 価 計 算

第 1 問

採点欄

①	実際	標準	個別	工程別	総合
②	前工程費	直接材料費	材料費	変動直接費	製造部門費
③	加工費	変動間接費	労務費	補助部門費	経費
④	直接原価	貢献利益	原価標準	完成品総合原価	限界利益
⑤	変動費額	正常仕損費	原価差異	材料受入価格差異	固定費額

第 2 問

- 問 1
- (1) 4,000 円/個
-
- (2) 158,400,000 円
-
- (3) 10,800,000 円
-

- 問 2
- 375,000 円 (有利・不利) 差異
-
- (注) () 内は、「有利」か「不利」のいずれかを○で囲みなさい。

- 問 3
- (1) 450,000
-
- (2) 有利 不利
-
- (3) 71,630
-
- (4) 63,000
-
- (5) 借方 貸方
-

- 問 4
- 144,370 円
-

商業簿記解説(単位：円)

1 (1)

為替差損	400	／	長期借入金	1,200
長期前払費用	800	／		
為替差損	100	／	長期前払費用	100

	為替予約時 ×5	×5	×6	
	1/1	3/31	12/31	
	借入		返済	
	400千ドル	決算日		
直物レート @98	→ @99	@102		
予約レート	↓ @101			
400千ドル × @98 = 39,200				
現金預金	39,200	／	長期借入金	39,200

×5 1/1 為替予約時

直々差額 (@98 - @99) × 400千ドル = △400

直々差額 (@99 - @101) × 400千ドル = △800

為替差損	400	／	長期借入金	1,200
長期前払費用	800	／		

×5 3/31 決算日

為替差損	100	／	長期前払費用	100
------	-----	---	--------	-----

$$800 \times \frac{3 \text{ カ月}}{12 \text{ ヶ月}} = 100$$

(2)

為替予約	2,400	／	繰延ヘッジ損益	2,400
$(@102 - @99) \times 800 \text{ 千ドル} = 2,400$				

2

仕入	40,000	／	繰越商品	40,000
繰越商品	31,500	／	仕入	31,500
棚卸減耗費	1,050	／	繰越商品	3,660
商品評価損	2,610	／		

商品 (原価)	
期首	売上原価
40,000	
仕入高	期末
184,000	

商品 (売価)	
期首	売上高
58,000	
仕入高	275,000
184,000	
原始値入額	
88,200	
仕入戻し △ 5,400	
正味値上額	期末
25,200	
正味値下額 △ 30,000	45,000

← 実地 43,500

$$\text{原価法原価率} = \frac{40,000 + 184,000}{58,000 + 184,000 + 88,200 - 5,400 + 25,200 - 30,000} = \frac{224,000}{320,000} = 0.7$$

$$\text{低価法原価率} = \frac{40,000 + 184,000}{58,000 + 184,000 + 88,200 - 5,400 + 25,200} = \frac{224,000}{350,000} = 0.64$$

原価法原価率 : 0.7	商品評価損 2,610	棚卸減耗費 1,050	← 期末帳簿棚卸高 45,000 × 0.7 = 31,500
低価法原価率 : 0.64	期末正味売却価額 27,840		
	実地棚卸売価 43,500	帳簿棚卸売価 45,000	

3 (1)

貸倒引当金	420	／	貸倒損失	420
繰越利益剰余金	54	／	貸倒引当金	54
貸倒引当金繰入	581	／	貸倒引当金	581

前期の売掛金の貸倒 1,180 - 760 = 420

貸倒引当金の過去の誤謬

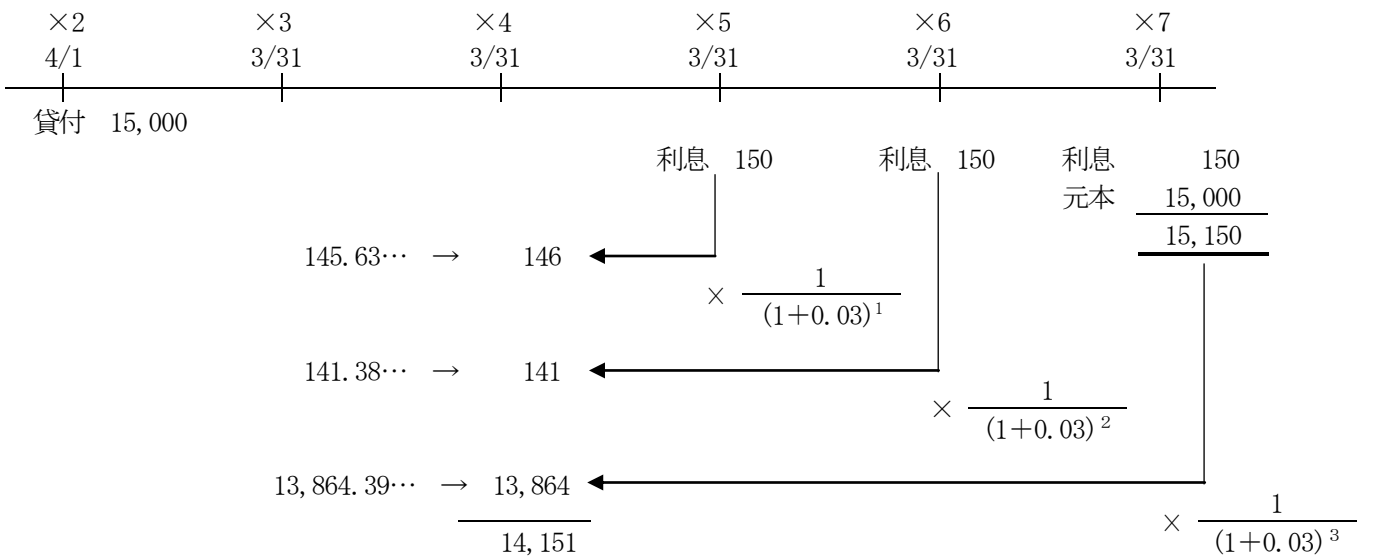
$$(1,243 - 849) \times \frac{2.5\% - 2.2\%}{2.2\%} = 53.72 \dots \rightarrow 54$$

当期の設定 21,000 × 2.9% = 609

$$(1,243 - 849 + 54 - 420) - 609 = 581 \text{ (繰入額)}$$

(2)

現金預金	150	／	受取利息	575
貸倒引当金	425			



前期末 15,000 - 14,151 = 849 (貸倒引当金設定額)

貸倒引当金の取崩額 14,151 × 3% = 424.53 → 425

4 (1)

リース債務	925	/	現金預金	1,000
支払利息	75			
減価償却費	481	/	リース資産減価償却累計額	481
リース債務	962	/	現金預金	1,050
リース解約損	88			
リース資産減価償却累計額	3,972	/	リース資産	4,453
リース資産除却損	481			

			(当期)		
×1	×2	×3	×4	×5	×6
4/1	3/1	3/31	3/31	3/31	12/31

リース資産の取得原価

$$1,000 \times \frac{1}{(1+0.04)^1} = 961.53 \dots \rightarrow 962$$

$$1,000 \times \frac{1}{(1+0.04)^2} = 924.55 \dots \rightarrow 925$$

$$1,000 \times \frac{1}{(1+0.04)^3} = 888.99 \dots \rightarrow 889$$

$$1,000 \times \frac{1}{(1+0.04)^4} = 854.80 \dots \rightarrow 855$$

$$1,000 \times \frac{1}{(1+0.04)^5} = 821.92 \dots \rightarrow 822$$

$$\underline{\underline{4,453}} < 4,850$$

×1 4/1 取得日

リース資産	4,453	/	リース債務	4,453
-------	-------	---	-------	-------

×2 3/31 リース料支払

リース債務	822	/	現金預金	1,000
支払利息	178			
支払利息	$4,453 \times 4\% = 178.12 \rightarrow 178$			
リース債務	$1,000 - 178 = 822$			

決算日 減価償却 償却率 $\frac{1\text{年}}{5\text{年}} \times 200\% = 0.4$

減価償却費	1,781	/	リース資産減価償却累計額	1,781
	$4,453 \times 0.4 = 1,781.2 \rightarrow \boxed{1,781}$			
	$4,453 \times 0.10800 = 480.924 \rightarrow 481$			

×3 3/31 リース料支払

リース債務	855	/	現金預金	1,000
支払利息	145			
支払利息	$(4,453 - 822) \times 4\% = 145.24 \rightarrow 145$			
	3,631			
リース債務	$1,000 - 145 = 855$			

減 価 償 却 費 1,069 / リース資産減価償却累計額 1,069
 ×3 3/31 決算日 (4,453 - 1,781) × 0.4 = 1,068.8 → 1,069
 4,453 × 0.10800 = 480.924 → 481

×4 3/31 リース料支払

リ ー ス 債 務 889 / 現 金 預 金 1,000
 支 払 利 息 111 /
 支払利息 (3,631 - 855) × 4% = 111.04 → 111
 2,776
 リース債務 1,000 - 111 = 889

減 価 償 却 費 641 / リース資産減価償却累計額 641
 決算日 (4,453 - 2,850) × 0.4 = 641.2 → 641
 4,453 × 0.10800 = 480.924 → 481

×5 3/31 リース料支払

リ ー ス 債 務 925 / 現 金 預 金 1,000
 支 払 利 息 75 /
 支払利息 (2,776 - 889) × 4% = 75.48 → 75
 1,887
 リース債務 1,000 - 75 = 925

減 価 償 却 費 481 / リース資産減価償却累計額 481
 決算日 (4,453 - 3,491) × 0.4 = 384.8 → 385
 4,453 × 0.10800 = 480.924 → 481
 ∴ (4,453 - 3,491) × 0.500 = 481

解約の処理

リ ー ス 債 務 962 / 現 金 預 金 1,050
 リ ー ス 解 約 損 88 /
 リース資産減価償却累計額 3,972 / リ ー ス 資 産 4,453
 リ ー ス 資 産 除 却 損 481 /

(2)

減 価 償 却 費 5,864 / 建物減価償却累計額 4,650
 備品減価償却累計額 1,214
 建物減価償却累計額 155,000 × 0.9 ÷ 30年 = 4,650
 備品減価償却累計額 既存備品 (9,500 - 3,500 - 3,840) × 0.4 = 864
 (9,500 - 3,500) × 0.10800 = 648
 新備品 3,500 × 0.4 × $\frac{3 \text{ カ月}}{12 \text{ カ月}}$ = 350
 3,500 × 0.10800 × $\frac{3 \text{ カ月}}{12 \text{ カ月}}$ = 94.5 → 95

5

社 債 利 息 724 / 社 債 724
 現 金 30,000 / 資 本 金 16,335
 新 株 予 約 権 2,670 / 資 本 準 備 金 16,335

×1 4/1 発行日

現 金 36,440 / 社 債 36,440

現 金 3,560 / 新 株 予 約 権 3,500

社債の払込 $40,000 \times \frac{91.10}{100} = 36,440$

新株予約権の払込 $40,000 \times \frac{8.90}{100} = 3,560$

×2 3/31 $36,440 \times 1.88\% = 685.072 \rightarrow 685$

社 債 利 息 685 / 社 債 685

×3 3/31 $(\underline{36,440 + 685}) \times 1.88\% = 687.95 \rightarrow 688$

37,125

社 債 利 息 688 / 社 債 688

×4 3/31 $(\underline{37,125 + 688}) \times 1.88\% = 710.8844 \rightarrow 711$

37,813

社 債 利 息 711 / 社 債 711

×5 3/31 $(\underline{37,813 + 711}) \times 1.88\% = 724.2512 \rightarrow 724$

38,524

社 債 利 息 724 / 社 債 724

権利行使

現 金 30,000 / 資 本 金 16,335

新 株 予 約 権 2,670 / 資 本 準 備 金 16,335

新株予約権 $3,560 \times 75\% = 2,670$

資本金・資本準備金 $(30,000 + 2,670) \times 1/2 = 16,335$

問6

退 職 給 付 費 用 1,063 / 退 職 給 付 引 当 金 1,063

退 職 給 付 費 用 9 / 退 職 給 付 引 当 金 9

退 職 給 付 引 当 金 670 / 仮 払 金 670

退職給付会計用貸借対照表

年金資産	退職給付債務
9,100	13,900
4,800	

退職給付会計用損益計算書

勤務費用	期待運用収益
1,010	$9,100 \times 4\%$
	364
利息費用	
$13,900 \times 3\%$	
417	1,063

退職給付引当金

年金掛金拠出額	期首残高
670	4,800
期末残高	
5,202	
	当期繰入額
	1,063
	数理計算上の差異
	9

退職給付引当金

年金掛金拠出額 670	期首残高 4,800
期末残高 (見積)5,193	当期繰入額 1,063

期末退職給付会計用貸借対照表

年金資産 10,076	退職給付債務 15,359
(実際)5,283	

数理計算上の差異 5,283-5,193=90(損失) 90÷10年=9(費用)処理額

年金掛金拠出時 期中処理

仮払金 670 / 現金預金 670

正しい仕訳

退職給付引当金 670 / 現金預金 670

7

前払費用	510	/	販売費用	510
販売費用	560	/	未払費用	890
一般管理費	210			
支払利息	120			
前払費用	300	/	長期前払費用	300

会計学解説

第1問

- (1) 金融商品に関する会計基準 32 参照
- (2) 企業会計原則 第一 二参照
- (3) 消費税の会計処理
- (4) 企業会計原則 注解6 (4) 参照

第2問

その他有価証券評価差額金

当期首残高

A社株式	$\times 1$ 年3月末1,200－取得原価1,000＝＋200(評価差益)
A社株式以外	$\times 1$ 年3月末2,500－取得原価2,000＝＋500(評価差益)
B社株式	$\times 1$ 年3月末1,600－取得原価600＝ <u>＋1,000(評価差益)</u> <u>＋1,700(評価差益)</u>

組替調整額

A社株式	売却価額1,080－取得原価1,000＝ $\triangle 80$ (売却益)
A社株式以外	なし
B社株式	売却価額1,480－取得原価600＝ <u>$\triangle 800$(売却益)</u> <u>$\triangle 880$(売却益)</u>

当期末残高

A社株式	なし
A社株式以外	$\times 2$ 年3月末2,300－取得原価2,000＝＋300(評価差益)
B社株式	なし
	<u>＋300(評価差益)</u>

当期発生額

A社株式	$\triangle 200$ (評価差損)＋80(売却益)＝ $\triangle 120$
A社株式以外	$\triangle 500$ (評価差損)＋300(評価差益)＝ $\triangle 200$
B社株式	$\triangle 1,000$ (評価差損)＋800(売却益)＝ <u>$\triangle 200$</u> <u>$\triangle 520$</u>

税効果額 $(\triangle 520 + \triangle 880) \times 40\% = \triangle 560$

為替換算調整勘定

当期首残高	S_2 社500＋ S_3 社300＝800
組替調整額	S_2 社 $\triangle 500$ (売却益)
当期末残高	S_3 社700
当期発生額	S_3 社700－300＝400
税効果額	$500 \times 40\% = 200$ 売却意志のあるもののみ税効果会計の適用をする。

連結包括利益計算書

その他包括利益

その他有価証券評価差額金	組替調整額 $\triangle 880$ ＋当期発生額 $\triangle 520$ －税効果額 $\triangle 560$ ＝ $\triangle 840$
為替換算調整勘定	組替調整額 $\triangle 500$ ＋当期発生額＋400－税効果額 $\triangle 200$ ＝＋100

(内訳)

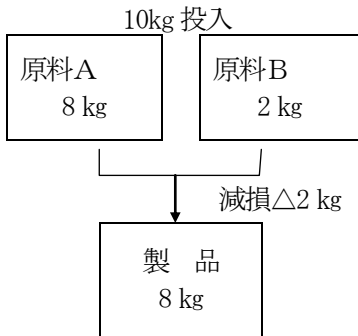
少数株主に係る包括利益	少数株主損益3,000＋ $\{(\triangle 800 + \triangle 200) - (\text{税効果額} 320 + 80)\} \times 20\% = 2,880$
親会社株主に係る包括利益	$9,260 - 2,880 = 6,380$

第3問

固定資産の減損に係る会計基準二 2 参照

第1問

原料 A		原料 B		原料合計	
月初 1,400kg @120 168,000	消費 33,900kg @120 4,068,000	月初 500kg @100 50,000	消費 8,100kg @100 810,000	月初 218,000	消費 4,878,000
購入 34,100kg @120 4,092,000	月末 1,600kg @120 192,000	購入 7,800kg @100 780,000	月末 200kg @100 20,000	購入 4,872,000	月末 212,000



生産データ(実際)		生産データ(標準)	
当月投入 原料A 33,900kg	完成品 32,000kg	当月投入 10kg 原料A 8kg 原料B 2kg	完成品 8kg 32,000kg
原料B 8,100kg	正常減損 10,000kg	8,100kg	正常減損 2kg 10,000kg

原料A

単価
実際 121

標準 120	購入原料価格差異 △ 34,100		
	歩留差異 △ 192,000	配合差異 △ 36,000	

標準消費数量

$$40,000\text{kg} \times \frac{8\text{kg}}{8\text{kg}+2\text{kg}} = 32,000\text{kg}$$

実際消費数量 33,900 kg
購入量 34,100kg

実際投入量×標準投入割合

$$(33,900\text{kg}+8,100\text{kg}) \times \frac{8\text{kg}}{8\text{kg}+2\text{kg}} = 33,600\text{kg}$$

材料実際購入高 (単位：円)

A 送状価額		=3,348,000
引取運賃	$544,700 \times \frac{34,100\text{kg}}{34,100\text{kg}+7,800\text{kg}}$	= 443,300
その他の引取費用	$3,348,000 \times 10\%$	= 334,800
		<u>4,126,100</u> @121

原料B

単価
 実際 98

標準 100

購入原料価格差異 + 15,600			
	歩留差異 △ 40,000	配合差異 + 30,000	

標準消費数量
 $40,000\text{kg} \times \frac{2\text{kg}}{8\text{kg}+2\text{kg}} = 8,000\text{kg}$

実際消費数量 8,100 kg
 購入量 7,800kg

実際投入量×標準投入割合

$(33,900\text{kg}+8,100\text{kg}) \times \frac{2\text{kg}}{8\text{kg}+2\text{kg}} = 8,400\text{ kg}$

材料実際購入高 (単位：円)

A 送状価額		= 650,000
引取運賃	$544,700 \times \frac{7,800\text{kg}}{34,100\text{kg}+7,800\text{kg}}$	= 101,400
その他の引取費用	$650,000 \times 2\%$	= 13,000
		<u>764,400 @ 98</u>

労務費

単価
 実際

標準 800

実際消費額 1,700,000		
労働賃率差異 + 60,000		
	労働歩留差異 △ 80,000	労働能率差異 △ 80,000

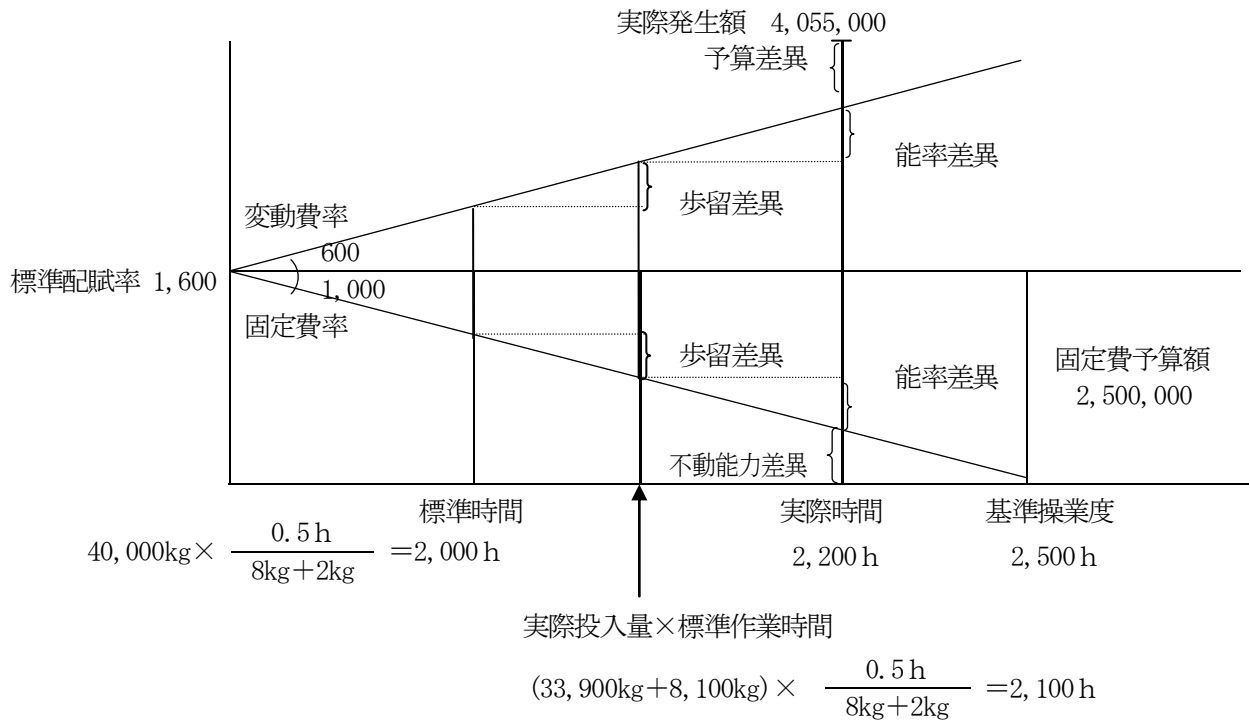
標準時間
 $40,000\text{kg} \times \frac{0.5\text{ h}}{8\text{kg}+2\text{kg}} = 2,000\text{ h}$

実際時間
 2,200 h

実際投入量×標準作業時間

$(33,900\text{kg}+8,100\text{kg}) \times \frac{0.5\text{ h}}{8\text{kg}+2\text{kg}} = 2,100\text{ h}$

製造間接費



予算差異	$(@600 \times 2,200\text{h} + 2,500,000) - 4,055,000 = \Delta 235,000$
不動能力差異	$(2,200\text{h} - 2,500\text{h}) \times @1,000 = \Delta 300,000$
歩留差異	$(2,000\text{h} - 2,100\text{h}) \times @1,600 = \Delta 160,000$
能率差異	$(2,100\text{h} - 2,200\text{h}) \times @1,600 = \Delta 160,000$

第2問

原価計算基準等を参照

原価計算解説

第1問

原価計算基準等を参照

第2問 (単位:円)

生産データ			販売データ		
月初	20個 (10個)	完成品	月初	10個	販売
		1,500個			1,425個
投入		(1,500個)	完成品		
1,520個			1,500個	月末	
(1,510個)		月末		40個	
		(20個)			85個

問1

(1) 製品Aの標準原価(変動費のみ)

直接材料費	@925×2kg=	1,850
直接労務費		
第1製造部門	@1,500×0.4h=	600
第2製造部門	@2,500×0.3h=	750
製造間接費		
第1製造部門	@500×0.4h=	200
第2製造部門	@2,000×0.3h=	600
		4,000

(2)

売上高	10,000	貢献利益率	$\frac{5,000}{10,000} = 0.5$
変動費		変動費率	$\frac{5,000}{10,000} = 0.5$
製造原価	4,000		
販売費	1,000		
貢献利益	5,000		

損益分岐点年間売上高

$$0.5X - 79,200,000 = 0$$

$$X = 158,400,000$$

(3) 計画販売量における年間営業利益

$$\frac{79,200,000}{1 - (0.5 + 0.06)} = 180,000,000$$

$$180,000,000 \times 0.5 - 79,200,000 = 10,800,000$$

問2

月次予算営業利益 10,800,000 ÷ 12ヶ月 = 900,000

10月の販売量による営業利益

貢献利益		7,125,000
固定費	79,200,000 ÷ 12ヶ月	6,600,000
		=
営業利益		525,000

差額 900,000 - 525,000 = 375,000

問3

販売価格差異

実際売上高 13,800,000－予算売上高 14,250,000＝△450,000 (1) (2)

(3) 実際販売費 1,496,630－実際販売量予算(@1,000×1,425個)＝71,630 多く発生している。

製造原価差異総額

直接材料費	@925 × (1,520 個 × 2kg) - 2,806,000 =	+ 6,000
直接労務費		
第1製造部門	@1,500 × (1,510 個 × 0.4h) - 904,000 =	+ 2,000
第2製造部門	@2,500 × (1,510 個 × 0.3h) - 1,160,000	△27,500
	=	
変動製造間接費		
第1製造部門	@500 × (1,510 個 × 0.4h) - 303,000 =	△ 1,000
第2製造部門	@2,000 × (1,510 個 × 0.3h) - 948,500 =	△42,500
		<u>△63,000</u>

問4

売上高		13,800,000
変動売上原価	@4,000 × 1,425 個 =	5,700,000
固定売上原価	(16,200,000 + 27,000,000) × $\frac{1,425 \text{ 個}}{18,000 \text{ 個}}$ =	3,420,000
製造原価差異		(不利) 63,000
操業度差異	@2,400 × (1,510 個 - 1,500 個) =	(有利) 24,000
売上総利益		4,641,000
変動販売費		1,496,630
固定販売費		950,000
一般管理費		2,050,000
営業利益		<u>144,370</u>